

分類番号			
保存期限	1・3・5・10・永		

様式第5号（第5条関係）

議長	事務局長	事務局員
		

令和6年 4月 8 日

矢巾町議会議長 廣田 清実 様



会派名 矢巾未来の会

代表者名 谷上 知子



令和5年度政務活動費収支報告書

矢巾町議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項（第2項）の規定により、次のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入

政務活動費 480,000円

2 支 出

項 目	金 額（円）	主たる支出の内容
調査研究費	489,348円	旅費、交通費等
研 修 費	7,200円	講師費、会場費等
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
広 報 費		
事 務 費		
合 計	496,548円	

3 残 額

0円

備考 政務活動費支出明細書、調査研究等実施報告書、領収書等の写しを添付すること。

政務活動費支出明細書(会派名=矢巾未来の会)

(調査研究費・1枚のうち1枚)

No.	支出年月日	件名	内容	金額(円)	備考
1	R5.7.23~ R5.7.25	調査研究費	高知県三好市、徳島県上 勝町視察	356,538	
2	R6.1.25~ R6.1.26	調査研究費	東京都足立区視察	132,810	

様式第 7 号 (第 6 条関係)




政務活動費支出明細書 (会派名 = 矢巾未来の会)

(研修費・1枚のうち1枚)

No.	支出年月日	件名	内容	金額 (円)	備考
1	R6.3.25	研修費	講師料、会場費	7,200 円	

分類番号	5	4	6	3	
保存期限	1	3	5	10	永

様式第8号 (第6条関係)

議長	事務局長	事務局員
		

令和5年7月31日

矢巾町議会議長 廣田 清実 様



会派名 矢巾未来の会
 代表者名 谷上 知子
 報告者氏名 谷上 知子

調査研究等実施報告書

実施年月日	令和5年7月23日 ~ 令和5年7月25日
参加者名 (5人)	(矢巾未来の会) 谷上知子 村松信一 齊藤勝浩 (日本共産党矢巾町議団) 小川文子 木村豊
目的	<ul style="list-style-type: none"> 上勝町のリサイクルへの取り組みと地域住民の意欲について 三好市の認知症カフェ (オレンジカフェ) の運営と子育て支援センターの運営について
行先	② 徳島県上勝町、① 高知県三好市
対応者 又は 主催者	矢巾未来の会 谷上知子
概要及び 所見	別紙のとおり
経費	118,846円×3人=356,538円 (内訳は別紙のとおり) ※矢巾未来の会3名分として

調査研究等経費内訳

(会派名＝矢巾未来の会)

調査研究費・研修費		(いずれかを○で囲む)			
	交通機関名	経路	計算	計	備考
交通費	JR 東日本	矢幅駅～盛岡駅 (往復)	480 円×3 人	1,440 円	往復 1-1
	バス	徳島空港～徳島駅 (片道)	600 円×3 人	1,800 円	片道 1-2
	JR 東日本	盛岡駅～浜松町駅 (往復)	30,020 円×3 人	90,060 円	往復 1-3 内
	モノレール	浜松町駅～羽田空港第1ターミナル (往復)	1,000 円×3 人	3,000 円	往復 1-3 内
	JAL 航空	羽田空港～徳島空港 高松空港～羽田空港 (往復)	31,430 円×3 人	94,290 円	往復 1-3 内
	タクシー	ジャンボタクシー (片道) ホテル～三好町～高松空港	24,492 円×3 人	73,476 円	片道 1-3 内
	有料道路料金・駐車料金	ホテル～三好町～高松空港 (片道)	732 円×3 人	2,196 円	片道 1-3 内
宿泊料	宿泊日	宿泊先	計算	計	備考
	7月23日	JR ホテルクレメント	11,770 円×3 人	35,310 円	1-3 内
	7月24日	JR ホテルクレメント	11,770 円×3 人	35,310 円	1-3 内
資料代・見学科	3,500 円×3 人 = 10,500 円				1-4
国内旅行損害保険料	500 円×3 人 = 1,500 円				1-3 内
航空機欠航補償保険料	540 円×3 人 = 1,620 円				1-3 内
企画料金	2,200 円×3 人 = 6,600 円				1-3 内
値引き分	▲188 円×3 人 = ▲564 円				1-3 内

合計	356,538 円
----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(A4)



いっきゅうと彩の里・かみかつ

上勝町長

花本 靖

はなもと

やすし

花本 靖

〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町大字福原字下横峯3番地1
TEL 0885-46-0111 FAX 0885-46-0323
LGWAN-mail hanamoto_yasushi@town.kamikatsu.lg.jp
E-mail hanamoto_yasushi@kamikatsu.i-tokushima.jp

pangaea,LLC CEO
野々山 聡
Nonoyama Satoshi



合同会社パンゲア

〒771-4501
徳島県勝浦郡上勝町福原字川北4
パンゲアフィールド
☎0885-46-0371 / 090-1414-9674
☎0885-46-0291
✉s.nonoyama@k-pangaea.com
🌐http://www.k-pangaea.com

pangaea,LLC COO
片山 雅仁
Katayama Masahito



合同会社パンゲア

〒771-4501
徳島県勝浦郡上勝町福原字川北4
パンゲアフィールド
☎0885-46-0371
☎0885-46-0291
✉m.katayama@k-pangaea.com
🌐http://www.k-pangaea.com

花本 靖



徳島県
三好市議会

副議長

大柿 兼司

事務所 千七百八十八五〇一
徳島県三好市池田町シンマチ一五〇〇一
TEL 0883-72-7630 FAX 0883-72-3494
〒七九一四八〇六
徳島県三好市井川町西井川六二五
TEL 0883-72-1414 FAX 0883-72-1116
E-mail kenji-ohgaki2320@docomone.jp



三好市議会事務局

花本 靖

事務局長

谷 賢二

〒778-8501
徳島県三好市池田町シンマチ1500-2
TEL.0883-72-7630 FAX.0883-72-3494
k-tani_01@city.tokushima-miyoshi.lg.jp



三好市福祉事務所 子育て支援課

課長

やまもと あけみ
山本 朱美

花本 靖

〒778-0004
徳島県三好市池田町シンマチ 1474 番地
電話 0883-72-7648 FAX0883-72-7677
E-mail: a-yamamoto_01@city.tokushima-miyoshi.lg.jp



三好市役所 環境福祉部
長寿・障害福祉課



課長 安宅 克枝

ATAGI KATSUE

〒778-8501
徳島県三好市池田町シンマチ1500番地2
TEL:0883(72)7610・7612
FAX:0883(72)7605
E-mail: k-atagi01
@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-1
領収書その他の書類の添付欄	
JR 矢幅駅～盛岡駅 別紙のとおり	
確認項目	
<input type="checkbox"/> あて名欄は、会派名となっているか。 (複数会派合同の場合は、全ての会派名)	
<input type="checkbox"/> 但し書きが具体的な記載となっているか。	
<input type="checkbox"/> レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。	
<input type="checkbox"/> 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。	
支払年月日	令和5年7月23日
他会派との按分 (なし <u>あり</u>)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 矢巾未来の会	240円×3人=720円
会派名 日本共産党 矢巾町議団	240円×2人=480円
会派名	円
合計	1200円
領収書の金額と一致	

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

領收証谷上知子様

ご利用日付 2023年07月23日

時刻 06時54分

カード番号: JE*****1990

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳 /
ICカード: 金240円

伝票番号: 18210

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

矢幅駅 券101発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証村松信一様

ご利用日付 2023年07月23日

時刻 06時49分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
現金 金240円

伝票番号: 18208

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

矢幅駅 券101発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証齊藤勝浩様

ご利用日付 2023年07月23日

時刻 06時53分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
現金 金240円

伝票番号: 18209

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

矢幅駅 券101発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証小川文子様

ご利用日付 2023年07月23日

時刻 06時57分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳 /
現金 金240円

伝票番号: 18211

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

矢幅駅 券101発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証本村豊様

ご利用日付 2023年07月23日

時刻 07時09分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
現金 金240円

伝票番号: 18212

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

矢幅駅 券101発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄

JR盛岡駅～矢幅駅
別紙のとおり

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和5年7月25日
他会派との按分 (なし <u>あり</u>)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 矢巾未来の会	240円×3人=720円
会派名 日本共産党 矢巾町議団	240円×2人=480円
会派名 _____	円
合計	1200円
領収書の金額と一致	

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

領收証 谷上知子様

ご利用日付 2023年07月25日
時刻 19時35分
カード番号: JE*****1980

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
ICカード: 金240円

伝票番号: 03569

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

盛岡駅 券301発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証 村松信一様

ご利用日付 2023年07月25日
時刻 19時38分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
現金: 金240円

伝票番号: 09842

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

盛岡駅 券101発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証 齊藤勝浩様

ご利用日付 2023年07月25日
時刻 19時37分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
現金: 金240円

伝票番号: 03571

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

盛岡駅 券301発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証 小川文子様

ご利用日付 2023年07月25日
時刻 19時35分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
現金: 金240円

伝票番号: 03568

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

盛岡駅 券301発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

領收証 本村豊様

ご利用日付 2023年07月25日
時刻 19時36分

取引内容: 乗車券類 (税率: 10%)
購入金額 金240円
お支払方法 内訳
現金: 金240円

伝票番号: 03570

- この領收証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

盛岡駅 券301発行
登録番号 T9011001029597 JR東日本

(任意様式)

項目区分	交通費
整理番号	1-2
領収書その他の書類の添付欄	
バス 徳島空港～徳島駅 別紙のとおり	
確認項目	
<input type="checkbox"/> あて名欄は、会派名となっているか。 (複数会派合同の場合は、全ての会派名)	
<input type="checkbox"/> 但し書きが具体的な記載となっているか。	
<input type="checkbox"/> レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。	
<input type="checkbox"/> 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。	
支払年月日	令和5年7月23日
他会派との按分 (なし あり)	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 矢巾未来の会	600円×3人=1,800円
会派名 日本共産党 矢巾町議団	600円×2人=1,200円
会派名 _____	円
合計	3,000円 領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

領収書

2023年 7月23日(日) 14:06 001号機

¥600-

上記金額を領収いたしました

□□□□□□□□□□□□□□□□
徳島バス株式会社 谷上知子
徳島阿波おどりの空港
徳島県板野郡松茂町豊久字朝日野
16番地2

領収書

2023年 7月23日(日) 14:05 001号機

¥600-

上記金額を領収いたしました

□□□□□□□□□□□□□□□□
徳島バス株式会社 村松信一
徳島阿波おどりの空港
徳島県板野郡松茂町豊久字朝日野
16番地2

領収書

2023年 7月23日(日) 14:06 001号機

¥600-

上記金額を領収いたしました

□□□□□□□□□□□□□□□□
徳島バス株式会社 齊藤勝浩
徳島阿波おどりの空港
徳島県板野郡松茂町豊久字朝日野
16番地2

領収書

2023年 7月23日(日) 14:05 001号機

¥600-

上記金額を領収いたしました

□□□□□□□□□□□□□□□□
徳島バス株式会社 小川文子
徳島阿波おどりの空港
徳島県板野郡松茂町豊久字朝日野
16番地2

領収書

2023年 7月23日(日) 14:07 001号機

¥600-

上記金額を領収いたしました

□□□□□□□□□□□□□□□□
徳島バス株式会社 木村豊
徳島阿波おどりの空港
徳島県板野郡松茂町豊久字朝日野
16番地2

(任意様式)

項目区分	交通費ほか
整理番号	1-3

領収書その他の書類の添付欄

旅行代金・保険料等（宿泊代含む）
別紙のとおり

確認項目

あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)

但し書きが具体的な記載となっているか。

レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。

鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和5年7月5日
-------	----------

他会派との按分 (~~なし~~あり)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名 矢巾未来の会	114,266円×3人 =342,798円	
会派名 日本共産党 矢巾町議団	114,266円×2人 =228,532円	
合計	571,330円	領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

領収証

BC-00033782
発行日 2023/07/05

矢巾町議会 矢巾未来の会 様

印紙税申告納
付につき名古屋中村
区税務署承認済



金額 ¥342,798.-

上記金額を正に領収いたしました
但し、7/23~25 旅行代金・
保険料相当額 (@1,040円×3名様) として

- 現金 342,798 円
小切手
振込
クレジット
その他()
()

名鉄観光サービス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印
	

領収証

BC-00033781
発行日 2023/07/05

矢巾町議会 日本共産党 様

印紙税申告納
付につき名古屋中村
区税務署承認済



金額 ¥228,532.-

上記金額を正に領収いたしました
但し、7/23~25 旅行代金・
保険料相当額 (@1,040円×2名様) として

- 現金 228,532 円
小切手
振込
クレジット
その他()
()

名鉄観光サービス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

責任者印	領収者印
	

明細書

発行日 2023年06月30日

予約番号 BC-029056

028-3692

岩手県矢巾町大字南矢幅第13地割123番地

矢巾町議会 矢巾未来の会 様

名鉄観光サービス株式会社

盛岡支店

〒020-0022

岩手県盛岡市大通3丁目3番10号

七十七日生盛岡ビル9F

TEL:019-654-1058 FAX:019-654-1044

担当者



内容 7/23~25 旅行代金・保険料

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
23/07/23	航空券代	羽田-徳島・高松-羽田		31,430	3	94,290
	JR券代	盛岡-浜松町 (往復)		30,020	3	90,060
	乗車券代	浜松町-羽田空港 (往復)		1,000	3	3,000
	宿泊代 (7/23)	1泊朝食・1室1名利用		11,770	3	35,310
	宿泊代 (7/24)	#		11,770	3	35,310
	企画料金			2,200	3	6,600
	ジャンボタクシー代	7/24・7/25利用分・1台		24,492	3	73,476
	高速道路代・駐車場代			732	3	2,196
	値引き分			-188	3	-564
	保険料	国内旅行傷害保険		500	3	1,500
	保険料	航空機欠航補償保険		540	3	1,620
合 計						342,798

028-3692

岩手県矢巾町大字南矢幅第13地割123番地

明細書(控)

発行日 2023年06月30日

予約番号 BC-029056

矢巾町議会 日本共産党 様

名鉄観光サービス株式会社

盛岡支店

〒020-0022

岩手県盛岡市大通3丁目3番10号

七十七日生盛岡ビル9F

TEL:019-654-1058 FAX:019-654-1044

担当者

内容 7/23~25 旅行代金・保険料

渡邊 あずさ

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
23/07/23	航空券代	羽田-徳島・高松-羽田		31,430	2	62,860
	JR券代	盛岡-浜松町(往復)		30,020	2	60,040
	乗車券代	浜松町-羽田空港(往復)		1,000	2	2,000
	宿泊代(7/23)	1泊朝食・1室1名利用		11,770	2	23,540
	宿泊代(7/21)	#		11,770	2	23,540
	企画料金			2,200	2	4,400
	ジャンボタクシー代	7/24・7/25利用分 1台		24,492	2	48,984
	高速道路代・駐車場代			732	2	1,464
	値引き分			-188	2	-376
	保険料	国内旅行傷害保険		500	2	1,000
	保険料	航空機欠航補償保険		540	2	1,080
			合	計		228,532

(任意様式)

項目区分	資料代（見学料）
整理番号	1-4
領収書その他の書類の添付欄	
資料代（見学料） 別紙のとおり	
確認項目	
<input type="checkbox"/> あて名欄は、会派名となっているか。 (複数会派合同の場合は、全ての会派名)	
<input type="checkbox"/> 但し書きが具体的な記載となっているか。	
<input type="checkbox"/> レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。	
<input type="checkbox"/> 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。	
支払年月日	令和5年7月24日
他会派との按分 (なし ・ <u>あり</u>) (按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名 <u>矢巾未来の会</u>	3,500円×3人 =10,500円
会派名 <u>日本共産党 矢巾町議団</u>	3,500円×2人 =7,000円
会派名 _____	円
会派名 _____	円
合計	17,500円
領収書の金額と一致	

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

領 収 証

矢中未来の会

様

No.

★

¥ 10,500 -

但 徳島県 上勝町 視察代として

2023年 7月 24日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

取 入
印 紙

コクヨ ワケ-1097

〒771-4501

徳島県勝浦郡上勝町大字福原字川北4番地

合同会社 パンゲア

代表社員 野々山 聡



領 収 証

日本不動産矢中所議団

様

No.

★

¥ 7,000 -

但 徳島県 上勝町 視察代として

2023年 7月 24日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

取 入
印 紙

コクヨ ワケ-1097

〒771-4501

徳島県勝浦郡上勝町大字福原字川北4番地

合同会社 パンゲア

代表社員 野々山 聡



視察研修報告書

報告者 会派名 矢巾未来の会 村松信一 齋藤勝浩 谷上知子
会派名 日本共産党 小川文子 木村豊

視察日時 令和5年7月23日（日）～令和5年7月25日（火）

視察場所 徳島県勝浦郡上勝町福原字上北4 パンゲアフィールド
徳島県三好市池田町シンマチ1500番の2 三好市議会

研修内容 ①リサイクル活動への取り組みについて
②認知症カフェと子育て支援センターの活動について

対応者 合同会社パンゲア 代表 野々山 聡
三好市 議会副議長 環境福祉部みよし地域包括センター
環境福祉部子育て支援課

参加者 矢巾未来の会 村松信一 齋藤勝浩 谷上知子
共産党 小川文子 木村豊

研修内容

上勝町

○上勝町

- ・上勝町は徳島県の中央部に位置する人口約1,500人の町。
- ・高齢率が50%を超える四国で一番小さな町。葉っぱビジネスは有名。
- ・葉っぱビジネスは年商2億5千万。パソコンやタブレットを駆使し、年収1,000万円を超える農家まで現れた。

○リサイクル活動

- ・日本で初めて、ゼロウェイスト「2020年までに償却ごみと埋め立てごみを無くす最善の努力をする」を宣言した上勝町。住民自らがごみを34分別し、再資源化するリサイクルの現場を研修した。

○町づくりの効果

- ・「リサイクルが町づくり」と感じた。SDGS未来都市に選定された。はつらつとごみ分別に取り組む高齢者に感激した。
- ・リサイクル施設パンゲアの近くにある「月の湯温泉」は木質バイオマスで稼働している。食堂のメニューは安く内容が良かった。平日でも利用客があり、外国の方も訪れていた。
- ・ゼロウェイストの構想を立て実行したのは行政であったという。

三好市

○三好市

- ・平成18年3月に徳島県西部の6町村が合併し三好市が発足。
- ・過疎高齢化が進行しており、合併当時304,103人の人口が23,266人に減少。
- ・年少人口は（0歳～14歳）は3,614人から1,830人に半減。
- ・合併当時31校あった小学校は13校と半減

○オレンジカフェの事業

- ・工夫されていた。認知症の方に貼るシール「お出かけ見守りQRシール」は、かわいらしく、大きさ、デザイン、機能が参考になった。
- ・協力隊員の募集を行っていた。
- ・精神科への受診を進めているようだ。
- ・医療機関との連携が密だ。

○子育て支援事業

- ・子育て交流の場の提供、相談援助、関連状況の提供、講習等の実施。
- ・活動事業計画は音楽、体操、など多岐の内容で、親の活力を高めるボディメイクセルフケアなどもあった。子どもと親の支援が組まれている。
- ・児童クラブの利用数は児童数の減少にもかかわらず横ばいである。
- ・少人数の児童クラブでは地域の人が参加する行事がある。

全体所見

- ・高い山腹に住宅地が点在する徳島の山村で、工夫し協力し産業につなげ経済を潤した。行政と住民の連携が実績に結びついている、「ない」ではなく「ある」を見つけ、発展させる町政を参考にしたい。高齢者のほつらつとした活動が印象的でした。
- ・高齢化少子化の課題は全国共通のことであるが、工夫し住みよい町づくりに活躍している。義務教育は給食費が無償化になっている。

「視察研修報告レポート」

- ・ 報告者

会派名	矢巾未来の会
氏名	齊藤 勝浩

- ・ 実施期間 令和5年7月23(日)～令和5年7月25日(火)
- ・ 視察場所と研修内容
(徳島県上勝町)
 1. 彩事業「葉っぱビジネス」の立上げ、手法、事業継続の学習
 2. 焼却ゴミと埋め立てゴミをなくす「ゼロ・ウェイスト」活動の取組学習
 (徳島県三好市)
 3. 「認知症カフェ」運営状況について
 4. 「子育て支援センター」の運営について
- ・ 視察参加者 矢巾未来の会 谷上 知子、村松 信一、齊藤 勝浩
(5名) 日本共産党矢巾町議団 小川 文子、木村 豊

<視察研修事前準備→視察時現認事項>

○徳島県上勝町

1. 「葉っぱビジネス」の概要

- ・ このビジネスは40年程前から始めた。
- ・ 主なビジネス構成は、様々な植物の葉っぱを注文に応じ販売することである。
- ・ ビジネス商品名は「彩り」(いろいろ)である。

※対応者：上勝町-花本町長

事前考察準備項目	現地説明確認事項
①生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島県の(四国全体)のほぼ中央部に位置し人口1410人、徳島市内から1時間程の四国で一番小さな町である。 ・ 町の面積は109.63k㎡、森林面積が80%、町の地形は山林と溪谷で標高100mから700mと高低差が大きい町である。 ・ 人口構成は高齢化率52.34%で人口減少と少子高齢化が進む町である。 ・ 上水施設は、全世帯山の沢水を地区ごとに分け引き込んでいる。山の中腹に貯水タンクを設け定期的な清掃、浄化作業を行い維持している。飲料水としては十分な鮮度を保っている。 (水の硬軟、PH値は確認できなかった。) ・ 下水施設は、全世帯合併浄化槽を使用している。
②商品の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表的なものは、もみじ・シソ等であり、今時期ははす芋の葉を出荷している。
③注文対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購買者からリクエスト注文を受け販売している。 ・ 客注は全てWeb上のネット注文で行われている。 ・ リクエストに応じられる者が対応し出荷するシステムで、応答販売は早い者勝ちとなっている。

③分別（特殊性）	<ul style="list-style-type: none"> ・取組み検討は25年程前、キックオフは20年程前（H15頃）からである。 ・分別は、当初22→35→現在45分類と進化してきた。 ・宣言目標期限を2030年としている。 ・現在、3Rの必要性（リユース、リデュース、リサイクル）を痛切に感じ初めている。そのため、リユース事業に力を入れており再利用展示施設「くるくるショップ」を常設している。 （再利用可能物受入れ→無償引き取り利用システム） ・生ごみについては各個人自宅にて、コンポスト処理や生ごみ処理機を購入し（町からの1万円の補助あり）肥料づくりを行っている。 ・これらゴミや廃品については基本個人（各家庭）が施設へ持ち込む仕組みではあるが、行政（町）として2ヶ月に1回ペースで町民宅を訪問回収する作業も行っている。 （この行政サービスは、町民が大変感謝しているようであり行政担当者とのコミュニケーション作りが大いに役立っているようであった。） 						
④現在の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ回収全体に対し「焼却ゴミを出さない目標」の80%の処理達成をしていると認識している。 ・残りの20%分の内容物は、ゴム類・合材物（靴ゴム+革製品）、衛星用品（おしめや生理用品）等であり、再生を模索中であるが現段階では焼却処理に回している状況である。 ・衛生用品関係については、徳島県の海峽向かえ岡山県のメーカー/ユニ・チャームの再処理工場へ持ち込む処理の打ち合わせをしている。（再生可能） <table border="1" data-bbox="502 1108 1193 1205" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>※リサイクル率</td> <td>上勝町</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日本全体平均</td> <td>20%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・また、現時点での模索検討で廃棄物の2%は、個人、行政の努力では難しいと考察している。→今後チャレンジ仕組み作りを行う予定である。 	※リサイクル率	上勝町	80%		日本全体平均	20%
※リサイクル率	上勝町	80%					
	日本全体平均	20%					
⑤再資源物の振り分け	<p>（上記③との重複あり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別は、22→35→45（現在）と進化してきた。 ・家財道具等で不必要になった物は、施設へ持ち込みを行い、検品後展示室へ移動しどなたでも無償で引き取り持ち帰ることができる仕組みとなっている。（くるくるショップ→リユース） 						
⑥アカデミーの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・アカデミーは、町からの委託を受け企画、立案、宣伝広報等を行い全国から視察対応等を行っている。 ・河川沿いに建屋があり、キャンプや川、山遊び、バーベキュー施設を完備し遊休利用も可能な場所であった。 						
⑦問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言期限2030年までの環推が厳しい状況である。→ゴム、革製品の処分 ・細分別し、費用処分料と有価処分料の差異が年間600万円程あり、この金額の圧縮を更に検討しなければならない。 						
⑧矢巾町への波及取り込み可能性の考察	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の矢巾町における「ごみ処理」「廃棄物処理」の取組は、私自身の単身赴任生活の環境（東京都墨田区、釜石市）や子の学生生活先の環境（神奈川県平塚市）と対比してもレベルは高いと判断しています。 						

(上記2件は居住年数等の他条件があるものの、好施策と思えた。)

※この件に関し簡単な試算ではあるが、国策の児童手当と合算すると一時的ではあるが合計5万円の補助が受けられる試算であり、私的には充分に子育てに取り組むことができる施策であると感じた。

□その他視察ができそうな案件

事前考察確認準備項目	現地説明確認事項
(徳島市内)	
・阿波踊り会館 文化	○ 常設-阿波踊り拝見
・徳島城跡 歴史	○ 早朝散歩により拝観
・眉山 シンボル	×
・大塚国際美術館 歴史	×
・渦潮 ジオ	×
・ラーメン東大 文化	○ (名物) 徳島ラーメンNO. 2の店にて食事
・あすたむらんど徳島 複合パーク	×
・徳島商業高校-野球部 歴史	×
(三好市)	
・池田高校-野球部 歴史	○ ガイドさんの交渉により敷地内グラウンド拝見 名将蔦監督の碑の前で記念撮影
・阿波池田うたつの家-たばこ資料館 歴史	×
	(旧池田町は葉タバコの名産地だったとのこと)

◇その他

徳島市に感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> ・四国の玄関口、景勝観光地及び伝統文化や巡礼のために訪れる人の往来が多いせいなのか、地域の人々は人懐っこく柔らかく感じられた。 ・阿波踊りは絶対的な文化と感じた、また人々の一体感も感じられ地域は海、山、川と自然に恵まれた住みよい土地と感じた。 ・経済的な面では、物価が安く感じた。
-----------	--

令和 6年 3月9日

矢巾町議会議長 廣田

清美 様

会派名 矢巾未来の会

代表者名 谷上 知子

報告者氏名 齊藤 勝浩

調査研究等実施報告書

実施年月日	令和 6年 1月25日 ~ 令和 6年 1月26日
参加者名 (6人)	谷上知子、村松信一、齊藤勝浩
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の無償化までの取組の成果と課題 ・夜間中学校運営の成果と課題 ・いずみ幼稚園の高等幼児教育の取組について 以上、3点を中心に調査研究を行った。
行先	東京都足立区内
対応者 又は 主催者	矢巾未来の会 谷上知子
概要及び 所見	別紙、視察研修レポート添付
経費	132,810円 (内訳は別紙のとおり)

調査研究等経費内訳

(会派名 = 矢巾未来の会)

調査研究費 ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)					
	交通機関名	経路	計 算	計	備考
交通費	JR 東日本	矢幅～東京 (往復)	30,270 円 × 3 人	90,810 円	整理番号 1-1 内
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
	タクシー	亀有駅～東京いずみ幼稚園	1,400 円	1,400 円	整理番号 1-2 内
	タクシー	東京いずみ幼稚園～スマイルホテル東京綾瀬駅前	2,600 円	2,600 円	整理番号 1-3 内
	タクシー	綾瀬駅～足立区役所	1,500 円	1,500 円	整理番号 1-4 内
タクシー	足立区役所～北千住駅 (先帰省齊藤分)	1,500 円	1,500 円	整理番号 1-5 内	
タクシー	足立区役所～北千住駅 (谷上、村松乗車分)	1,700 円	1,700 円	整理番号 1-6 内	
			小計	99,510 円	
宿泊料	宿泊日	宿泊先	計 算	計	備考
	1/2.5	スマイルホテル東京綾瀬駅前	10,000 円 × 3 人	30,000 円	整理番号 1-1 内
			円 × 人	円	
			円 × 人	円	
旅行会社手数料		3,300 円			整理番号 1-1 内

合 計	132,810 円
-----	-----------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄

領収証

BC-00034140
発行日 2024/01/18

矢巾町議会 矢巾未来の会 様

金額 ¥124,110.-

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

上記金額を正に領収いたしました
但し、1/25～26 旅行代金として

現金 124,110.円
小切手
振込
クレジット
その他()
()

名鉄観光サービス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。



※JR 東日本-矢幅駅～東京（新幹線、在来線往復運賃）、ホテル宿泊
代金及び、旅行会社手数料

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 6年 1月 18日

他会派との按分(なし)あり

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	124,110 円	領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

旅行費明細書

矢巾町議会 矢巾未来の会 様

観光長官旅行業登録第55号

 **名鉄観光サービス株式会社**

盛岡支店

総合旅行業務取扱管理者

渡邊あずさ

販売担当者

渡邊あずさ

住所：岩手県盛岡市大通3-3-10

(七十七日生盛岡ビル9階)

TEL：019-654-1058 FAX：019-654-1044

ご旅行代金の明細は下記の通りでございます。
ご査収の程、宜しくお願い申し上げます。

- ・旅行先：東京方面
- ・旅行期間：2024年1月25日（木）～1月26日（金）

御見積合計額	¥124,110
--------	----------

項目	内容	単価	人数	小計
JR券代	矢幅ー北千住	30,270	3	90,810
宿泊代	1泊朝食・1室1名利用	10,000	3	30,000
手配料金		1,100	3	3,300
備考：	合計			124,110
	基準人員			3
	お一人様あたり旅行代金			41,370

- ・上記旅行代金は、積算例提出日現在で計算されておりますので、運賃・料金等の変更の場合および人員変更のある場合は、金額変更のあることをご了承願います。
- ・企画料金・添乗サービス料金等は、旅行業法によりその取受が認められているものです。
- ・添乗諸経費は、添乗員の旅行実費および添乗サービス料金です。
- ・旅行代金には消費税等諸税相当額が含まれています。

名鉄観光サービス株式会社

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-2

領収書その他の書類の添付欄

1/25 亀有駅 → 東京いずみ幼稚園
領収書
2024年01月25日 -009
メーター運賃 ¥1,400円
運賃料金計 ¥1,400円
合計 ¥1,400円
(税率10%)
登録番号 T7013301029502
《お支払内訳》
現金支払 ¥1,400円
毎度ご乗車ありがとうございます。
お忘れ物、お気付きの点は
東都タクシー(株)
車両番号 006227
千住(営) TEL 03-5284-7381
無線配車センター TEL 03-3590-1010
ナビコード 5465-9345-0440
東都タクシー配車アプリ
Android / iPhone対応

※タクシー代金 (亀有駅～東京いずみ幼稚園)

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 6年 1月 25日
他会派との按分	(なし) あり
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	1,400円
	領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-3

領収書その他の書類の添付欄

← 40A

1/5 東京いずみ幼稚園 → スマイルホテル東京綾瀬
領収書 軽後

車両番号 4653号
2024年01月25日 16:43
毎度ご乗車ありがとうございます。
(現金、チケット、クーポン、カード)

乗車料金 2100円
迎車料金 500円

運賃料金計 2600円

計 2600円
消費税 10.0%

高交通株式会社 登録番号:T5011801021559
お忘れ物は 高交通
03(3607)3789
その他は カスタマーサポートデスクへ
TEL050(3173)9200 平日9:00~17:00

※タクシー代金 (東京いずみ幼稚園～スマイルホテル東京綾瀬駅)

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 6年 1月 25日
他会派との按分 (なし) あり	
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	2,600円
領収書の金額と一致	

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-4

領収書その他の書類の添付欄

1/26 綾瀬駅 → 足立区役所

領 収 書
No. 7799

日付 24年01月26日
車番 100541 000
メータ運賃 ¥1,500-
合計金額 ¥1,500-
内消費税等 ¥136-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

日の丸自動車グループ
タクシーのご用命は
03-3814-1111
お忘れ物は
(株)日の丸交通千住
03-3880-6111
登録番号: T3011801025636

※タクシー代金 (スマイルホテル東京綾瀬駅～足立区役所)

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 6年 1月 26日
他会派との按分	(なし) あり
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	1,500円
領収書の金額と一致	

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-5

領収書その他の書類の添付欄

足立区役所→北千住駅
↑ (先帰省 齊藤氏)
領収書 No. 7797
日付 24年01月26日
車番 100541 000
メータ運賃 ¥1,500-
合計金額 ¥1,500-
内消費税等 ¥136-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました
日の丸自動車グループ
タクシーのご用命は
03-3814-1111
お忘れ物は
(株)日の丸交通千住
03-3880-6111
登録番号：T3011801025636

※タクシー代金（足立区役所～北千住駅）「齊藤」先帰省、乗車分

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 6年 1月26日	
他会派との按分(なし)あり (按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)		
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
会派名	円	
合計	1,500円	領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

(任意様式)

項目区分	調査研究費
整理番号	1-6

領収書その他の書類の添付欄

4

1/26 足立区役所 → 北千住駅

領 収 証

(チケット・カード・クーポン)

2024年01月26日

無線番号 7137号


乗車料金 ¥1700円


計 1700円

内消費税額 154円

消費税率 10.0%

登録番号: T9011801008643

お忘れ物は  日本交通グループ

 昭栄自動車株式会社

TEL 03(3886)4177

その他は カスタマーサポートデスクへ

TEL 050(3179)9200 平日9:00~17:00

※タクシー代金 (足立区役所～北千住駅) 「谷上、村松」乗車分

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日	令和 6年 1月26日
他会派との按分	(なし)あり
(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)	
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
会派名	円
合計	1,700円 / 領収書の金額と一致

※1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

「視察研修報告レポート」

- ・報告者 会派名 矢巾未来の会
氏名 齊藤 勝浩
- ・実施期間 令和6年1月25(木)～令和6年1月26日(金)

・視察場所と研修内容

〈東京都足立区〉

1. 東京いずみ幼稚園-幼児教育の取組みについて
2. 学校給食に関する取組みについて
3. 夜間中学の実施と継続の取組み課題について

- ・視察参加者 矢巾未来の会 谷上 知子、村松 信一、齊藤 勝浩
(6名) 強く優しい矢巾 横澤 俊一
子育ても老後も 高橋 敬太
公明党 小笠原 佳子

〈視察研修事前準備→視察時現認事項〉

- ・区議会議員との接見、ディスカッション準備
- 1) 長沢興祐氏一足立区議会議員、岩手県矢巾町出身、3期目当選(10年目)現在に至る。
「矢巾町議会事務局-高橋補佐様からのご紹介」
 - 2) 市川伯登(おさと)氏一足立区議会議員、東京都足立区出身、身体障害者(車いす使用)
平成15年から6期連続当選し現在に至る。「岩手県代表-横澤国会議員様のご紹介」
 - 3) 櫻井麗奈女史一矢巾町出身、神奈川県横浜市在住、前矢巾町教育長のご令嬢、長沢議員との
テニス交流があり同郷来訪者への対応を頂いた。

○東京都足立区の概要「基本的認識の確認」

事前考察準備項目	現地説明確認事項
①気候	・冬場は関東独特の晴天の日が続き(12月～2月)空気が澄んでいるのだが、日本海側から山を越えて吹き下ろす乾燥した冷たい風により、喉や肌を痛めやすい気候でもある。
②生活環境	・位置:東京都の最北部に位置し、埼玉県に隣接している。 ・区の面積は53.25km ² (矢巾町67.32km ²)矢巾町の79%の面積。 ・区の人口は691,372人(矢巾町26,403人)矢巾町の26倍の人口数。 ・区の世帯数は368,275世帯(矢巾町11,052世帯)矢巾町の33倍強の世帯数 ・下町で四方を大きな河川(荒川、隅田川等)に囲まれ都内屈指の公園数を有する都市環境の整った街である。
③風土、地域性	・足立区は、その昔企業城下町であった。代表的な企業として日立製作所の拠点であったことがあげられる。現在でも街には多数の連立する団地AP(UR所有運営)が目につき、タクシー乗務員の方は「その当時の賑わいは凄かったですよ!」と興奮気味に説明されたことが印象に残った。 ・近年においては、平成24年に東京電機大学が移転したことを皮切りに、令和3年までに5つの大学が千住エリアにキャンパスをオープンさせ、現在1万7千人もの学生が通う学生街となった。 このことは足立区が産学官連携で行った施策が実を結び、区の賑わいや活性化に成功した事例となっている。

1. 東京いずみ幼稚園

・高等幼児教育を持続運営されている状況の視察。

※対応者：東京いずみ幼稚園 - 小泉敏男理事長

事前考察準備項目	現地説明確認事項
①理念、方針	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期（3～9歳）に適切な教育を与え、優れた人格を育む。 「三つ子の魂百まで」の語のとおり、幼児期に受けた教育はその後の人格形成に大きな影響を与えるとの意を唱え、人としての基礎作りをすることを建学の理念としていた。この根拠（エビデンス）を継続することが大事と評言されていた。 ・また子に対する環境は、母親の対応が大事との言葉も記憶に残った。
②特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数400名、遠方からでは神奈川県横浜市から通園（片道1時間30分）している園児がいるとのこと。 ・入園に関し、セレクトは無しであるが理事長との面談があるとのこと。（入園希望待ち200名程） ・1クラス35名の運営でR6. 3期の卒園予定者は135名。卒園者は70の小学校へ分かれて（私学？開成、慶應）入学する予定とのこと。 ・通園時間は10時、降園時間は14時頃である。通園時間前と降園時間後の時間は園内で自由に過ごすことが出来るようだ。預かり保育の制度も設けられていた。 ・教育は五感重視とし特に幼児期は言葉、音楽、運動が一番大事であるとの理念の基、特に「国語力は子供の人生の土台を作る」と唱え、干支（十二支）の漢字札や四文字熟語札を保育しが提示するとすらすら読み上げる、また古文や漢文までも読み切るレベルは素晴らしいの一言に尽きた。 ・園内には私設の屋内プールがあり、専属のスイミングコーチを配し通年教育を行っていた。そして、音楽合唱（コーラス）にも力を入れ、都の合唱コンクールに毎年参加し幾度となく入賞されているようであった。 また外国籍の児童も多数見られ、インターナショナル感のある園であった。
◆質問	<p>Q1：保育料について？</p> <p>A1：7万円強であるが、各補助金等の利用で個人持ち出しは1万7千程である。</p> <p>Q：保育士の方々の学習努力やモチベーションの保ち方にはどのような対応をしておりますか？</p> <p>C：適切なお答えはいただけませんでした。</p>
○所感	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い園児一人一人が自覚をもって行動している。 ・三歳児（年少）、四歳児（年中）、五歳児（年長）でありながら、他地区の同年代の子供達の集中力を考えると素晴らしいの一言であった。 特に、保育士の質問に対する園児一人々の対応が、しっかりと手を上げ指名されると起立し、椅子を机にしっかり納めて一呼吸間をとって回答する行為には驚かされた。
※視察感想	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念をしっかりとち、根拠（エビデンス）を基に運営されていることは大変素晴らしいと感じた反面、保育士の方々の日々のモチベーションの維持はどうされているのか？と気になる一面もあった。 ・私も子を2人授かり、矢巾町立煙山保育園で通算6年お世話になりました。また、東京都内で就業をしている時は、沢山の親子が通園する姿を拝見してきました。この時期を自然体で楽しく、親子の時間が沢山確保出来る方法を一番に選んで、過ごしてほしいものだと心から念じられました。

<p>※成果</p>	<p>(目標への取組み成果)</p> <p>1) <u>給食残菜は、期間10年程で381tから115tと7割減少し、処分費用の圧縮が図られ財源に余裕をもたらしていると判断できる。</u></p> <p>2) <u>おいしい給食提供、料理習慣の徹底により子供達の味覚感に変化が現れ、今では今日の給食のだしは〇〇〇だと味覚の醸成にも成功したことが伺え、長年の取組みが子供達は本より、社会的に「おいしさ」の評価を得たようである。</u></p>
<p>◆質問</p>	<p>Q1:<u>残菜については、どのような処分方法をとっているのですか？</u> <u>また、残菜は全て焼却処分ですか？肥料への加工転化等を行っているのですか？</u></p> <p>A1:<u>残菜は全て焼却処分であり、肥料等への加工転化は行っていない。</u></p> <p>Q2:<u>健康への政策特化を施し、社会保障費の圧縮等の成果は見られますか？</u></p> <p>A2:<u>確認はできていない。今後、検証することとする。</u></p>
<p>※所感・感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の繁栄した足立区、荒れた足立区を変えようとするに強い統率力をもって取り組まれていることがひしひしと感じられた。「克服しない限り〜！」のコメントがすごく印象に残る。 ・各ボトルネック課題を時間が掛かっても、改善に導きつつある取り組み体制、維持は素晴らしいの一言である。 ・この施策成功への一助となっているのは、資料を拝見し区が基本理念とした「財政の健全化」への取り組みが、成功されたことが第一であると考察される。 <p>検証内容として、僅か20年程で区債を5分の1へと減額し基金残高を5倍と向上反転させた取組み手法は、来期にでも再度視察をお願いしご教授を頂きたい事項である。</p>

※所感・感想

- ・歴史ある夜間中学の運営や生徒への対応を説明頂き、日本の歴史上での事情混在が垣間見えた。足立区は一時は企業城下町と化し人口は膨れ上がったのだろうが、第二次世界大戦後の高度成長時代の中で、目の行き届かない部分での人間模様があったと察すられた。
- ・今度は、日本国として少子高齢化、外国人の受入れ等の問題へ、本気に挑まなければならない時代であるとひしひしと感じた中央都部の現況視察であった。

3. 夜間中学について

・夜間中学の実施、継続運営の取組み成果、課題について

①夜間中学校の歴史と目的、現在概況	<ul style="list-style-type: none">・創設は、昭和26年7月に認可を受け73年の歴史がある。・同時に東京都内に4校（足立第四中学校含む）の夜間中学が創設された。・夜間中学は、高齢者や不登校で十分な教育を受けられなかった方々、外国人で日本で生活をする方々を受け入れる重要な役割を果たしている。・国勢調査による未就学者と最終卒業学校が小学生の者の数は関東、関西、九州等の都市部が多く人口比率に比例していると言える。・全国的調査において令和4年の調査で、令和2年の33校から7校増加し、40校となっている。・就学希望者は学齢経過者であって小・中学校における就学機会を提供されなかった方々が多く、今後「教育機会確保法等」に基づき全ての都道府県に少なくとも1つの夜間中学が設置される動きである。・生徒の数において全体数は減少、特に外国籍の者が大幅に減少する傾向にあるものの、日本国籍を有する10代～30代までの若年層の者が2倍以上増加しており、不登校等様々な事由から十分な教育を受けられなかった者の参加ニーズが高まっている。
②運営状況	<ul style="list-style-type: none">・第四中学校は、創設時より昼間生徒使用の校舎を利用し授業を行っている。・入学までの流れは、相談、見学、面接、試験登校、校長面接と一定期間の時間を取った経過観察がなされ、新入学者と在校生とのマッチングにも気を使われていることが伺われた。・登校日は月曜日から金曜日の週5日、授業は夕方17:30分～20:55、時間割は4時限で中間に給食時間が設けられている。・現在10代～80代の方々が在籍、国籍も様々である。・学習教科は、ほぼ昼間生徒と同じ教科数でカリキュラムも同じレベルとのこと。・学校行事は、遠足や修学旅行、運動会が行われている。・通学可能なタイミングは随時対応している、期間、卒業までは長い方で3年（最大）で卒業して頂くとなっているが、入学時の学習経歴や知能レベルにより早い方では半年、続いて1年、1年半位で卒業されることが多いとのこと。 （高校受験、就職等、次のステージを決めてあげることが目的にされているように思えた。）
③課題	<ul style="list-style-type: none">・近々の課題として、夜間中学の指導スキルを持った教諭が多数年満退職となるタイミングとなっており、対応を急いでいる状況である。（人種混在への対応スキルが必要）・全国的には、近年不登校児童生徒が増加傾向であることと、少子高齢化による労働人口不足に対応した外国人入国者へ（出入国管理法改正）対応を強化する方向であり、夜間中学がますます重要な役割を果たし充実を図らなければならない状況である。 施設においては、昼間の学校施設を使用できる場合は問題無いのであるが、施設の老朽化による改修や通学の利便性の確保などの理由による、新設設置（防災、脱炭素への対応を含め）の費用問題、そして生徒への対応としてカウンセラーの配置、外国人生徒の受入れ対応と課題は山積み状況である。・国は都道府県、市町村への設置、運営の促進を図るとしており、新しい時代の学びの環境整備対応が急務の状況となっている。

2. 足立区の学校給食制度の改善について

- ・おいしい給食と言われることへの取組み
- ・給食費無償化への取組み

<p>①おいしい給食への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近藤やよい氏が区長就任後持続可能な区政運営の推進に着手、4つのボトルネック課題を掲げ、「克服しない限り区内外から正当な評価が得られない。」との決意の下で課題解決へ着手し始めた。 ・課題検索し「区民の健康寿命が都平均より2歳短い」というデータを抽出、区民の健康管理の在り方を「総花的な健康対策」から疾患の中で特に突出している糖尿病対策に特化する改善策を遂行。結果、都平均の健康寿命との差を縮められる結果を得て現在も特化施策を緩めないで行っている。 ・並行し次のステージへも着手、「<u>未来へつなぐあだちプロジェクトを創設</u>」子供の学力、健康、生活習慣等細部に渡り調査を行った、<u>結果生活保護世帯、就学援助受給者が多い現環境は子供達に貧困が連鎖していると判断。</u> <u>平成27年度に専管部署を立ち上げ、改善に向け全庁横断的にきめ細かく対応することを周知徹底し始めた。</u> ・また、<u>区長は東京都のごみに学校給食の残菜が多いこと、学校によって給食の味が違うことに着目、どこの学校でも栄養のバランスの取れたおいしい給食を提供することで残菜の削減を図る、そして食育を通し小中学生の健康管理と望ましい食習慣を定着させ、子供のみならず全ての世代の健康増進につなげる。また野菜摂取が当然である地域社会を実現し将来に向けた健康区の確立を目標とした。</u>
<p>②食材、供給先、管理栄養士</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食材は、特産の地域野菜に着目しこれらの野菜をメインに使用する献立作りを行っている。「小松菜、大根、ブロッコリー等」（地産地消） ・供給先は、地域の農家、小売店、加工食品製造業者をメインとし各学校単位で決定取引きを行っている。（内需拡大） ・管理栄養士は、原則各校1名配置であるものの、東京都の協力を受け足立区の職員と同数の栄養士派遣を受けている。また令和元年からはベテラン栄養士の協力を受け「おいしい給食」の提供を行う体制を確立した。 ・また残菜削減対策には、味覚の育成にも着目し「<u>感覚醸成</u>」のために料理は全てだしからしっかりと調理し完食を目指す手法を徹底してる。 <u>（あだち食のスタンダード定着）</u> ・家庭での料理習慣も徹底指導する方針も掲げ、中学卒業までに「ご飯が炊ける」「みそ汁が作れる」等、基礎的な調理技能を全員が身に付けられることを目標に学校での家庭科授業と自宅でも行えるよう調理レシピを作成し意識の徹底を図っていた。
<p>③給食無償化への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食無償化への取組みは、ボトルネック的課題の根底課題である「<u>貧困の連鎖</u>」を改善、回避するために始められた。 ・<u>全国に先んじて、平成27年年度より専管部署を立ち上げ全庁横断的に対応を開始、給食無償化への当初予算は10億円と試算された。</u> ・財源確保の会議を行い令和4年度の収支は130億円の黒字となることから、この財源を担保充当することとし4月より中学生、10月より小学生の給食無償化を開始することができた。 ・その後、物価の高騰等により給食費について再試算を行った、結果年度小学生は10億円、中学生は5億円の費用が必要とはなったが、担保充当することとした給食費財源と今後は東京都からの補助金も望めることとなっており、区の財政赤字が長期に続かない限り心配ないと予想されていた。

④区の現況認識、
と政策変更、
今後の課題

- ・ 区長は女性の「近藤やよい氏」1959年生の足立区生まれ育ち。
学歴 - 青山学院大学卒、職歴 - 警視庁警察官、税理士、都議会議員を経て平成19年6月より足立区長就任、現在5期目
- ・ 区政運営の基本に「持続可能な区政運営の推進」を掲げ、区民ニーズへの的確に
えつつも財政状況の見極めを第一とし、有事対策対応や社会情勢の変化には柔軟
に対応しつつ、次世代へ過度な負担を残さない将来を見据えた財政運営に特化する
ビジョンを掲げている。
- ・ 課題に、「4つのボトルネック的課題」を掲げ、【克服しない限り！】と言う強
い評言を用い全庁横断的な取り組みを実行することと、いまだ根強く残る区へ
のマイナスイメージを払拭するとの評言が印象に残った。

※4つのボトルネックとは！

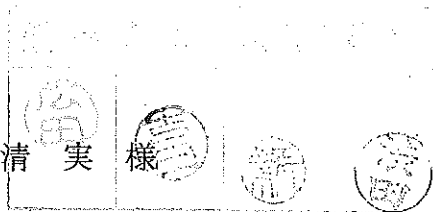
(認識課題)

(対応経過)

- 1) 治安 - 刑法犯認知件数23区ワースト1 → 認知件数ピーク時から8割減少
(近藤区長の警視庁在籍歴の影響大か?)
 - 2) 学力 - 小中共に全国平均を下回っていた。 → データ分析と教員授業力向上により平均を上回る結果が得られている。
 - 3) 健康 - 区民の健康寿命が都のレベルより低い。 → 総花的な健康対策から、1番疾患率の高い「糖尿病対策」に特化するアクションプランに変更し都レベルに近づく結果となっている。
 - 4) 貧困の連鎖 - 生活保護、就学援助受給者が多数であり、子供達に連鎖している。 → この課題は上記1～3の課題と密接に関連すると判断し、専管部門を立ち上げきめ細やかに対応を続けることにより、現在はピーク時の6割程までに減少してきた。
- ・ 区が掲げるその他の課題、目標 (今回の視察外)
 - 5) 若い世代の転入、定住・定着を促進する新しい魅力の創出
 - 6) 足立区人口ビジョンを実現するための施策の実施

令和6年3月27日

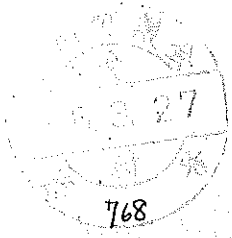
矢巾町議会議長 廣田 清実 様



会派名 矢巾未来の会

代表者名 谷上知子

報告者氏名 谷上知子



調査研究等実施報告書

実施年月日	令和6年3月25日
参加者名 (9人)	強くやさしい矢巾：横澤駿一 新誠会：山本好章、ササキマサヒロ 町民の会：廣田清実 公明党：小笠原佳子 矢巾未来の会：谷上知子、齊藤勝浩 日本共産党矢巾町議団：小川文子、木村豊
目的	超高齢化人口減少社会におけるコミュニティ活動について
行先	矢巾町活動交流センターやはぱーく
対応者 又は 主催者	強くやさしい矢巾 横澤駿一
概要及び 所見	概要：超高齢化人口減少社会におけるコミュニティ活動においては、谷自治体を超えて小学校区単位等で地域運営組織を考えていくことも重要。 所見：別紙のとおり
経費	7,200円 (内訳は別紙のとおり)

調査研究等経費内訳

(会派名=矢巾未来の会)

調査研究費 ・ 研修費 (いずれかを○で囲む)				
交通機関名	経路	計 算	計	備考
		円× 人	円	
		円× 人	円	
		円× 人	円	
		円× 人	円	
		円× 人	円	
交通費	タクシー		円	
	レンタカー		円	
	有料道路料金		円	
	駐車料金		円	
	燃料代		円	
			円	
宿泊日	宿泊先	計 算	計	備考
		円× 人	円	
		円× 人	円	
		円× 人	円	
講師料		3,333円× 2人 =	6,666円	[-]
会場費		267円× 2人 =	534円	[-2]

合 計	7,200円
-----	--------

備考 領収書等の写しを添付すること。

(任意様式)

項目区分	講師料
整理番号	1-1

領収書その他の書類の添付欄

別紙

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複数会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 6 年 3 月 25 日

他会派との按分 (なし・あり)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派強くやさしい矢巾	3,336 円	
会派名 町民の会	3,333 円	
会派名 公明党	3,333 円	
会派名 新誠会	6,666 円	
会派名 日本共産党矢巾 町議団	6,666 円	
会派名 矢巾未来の会	6,666 円	
合計	30,000 円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

領 収 書

矢中町議会 様


- ・強けたい知 (1人)
- ・町民の会 (1人)
- ・新誠会 (2人)
- ・矢中未来の会 (2人)
- ・日本共産党矢中町議団 (2人)
- ・公明党 (1人)

¥30,000 円

但し、講師料として受領して下さい。

令和6年3月25日

紫波町遠山字新坊 8-1

中村恭香 

(任意様式)

項目区分	会場費
整理番号	1-2

領収書その他の書類の添付欄
別紙

確認項目

- あて名欄は、会派名となっているか。
(複教会派合同の場合は、全ての会派名)
- 但し書きが具体的な記載となっているか。
- レシートの場合、上記2項目の加筆がされているか。
- 鉄道やタクシー等交通費の場合、利用区間が記入されているか。

支払年月日 令和 6 年 3 月 25 日

他会派との按分 (なし・**あり**)

(按分ありの場合、会派ごとの負担額を記載)

会派強くやさしい矢巾	344 円	✓
会派名 町民の会	267 円	
会派名 公明党	267 円	
会派名 新誠会	534 円	
会派名 日本共産党矢巾 町議団	534 円	
会派名 矢巾未来の会	534 円	
合計	2,480 円	領収書の金額と一致

※ 1枚につき、1支出項目分の領収書等を貼付

領 収 書

矢巾町議会 様

矢巾町活動交流センター やはぱーく
指定管理者 矢幅駅前開発株式会社

下記の金額を領収いたしました。

〒028-3618
岩手県紫波郡矢巾町駅東一丁目12番1号
TEL:019-656-6610 FAX:019-656-6612

金 2,480 円

登録番号: T1400001005188

但し、矢巾町活動交流センターの下記利用料として

申請番号	017258
------	--------

項目	利用日	利用時間	利用料(税込)
会議室	令和6年3月25日(月)	09:00~12:30	1,200円
プロジェクター(大)	令和6年3月25日(月)	09:00~12:30	700円
スクリーン(幅1,750 高さ1,000mm)	令和6年3月25日(月)	09:00~12:30	500円
持込機器に係る電気使用(1時間ごと)	令和6年3月25日(月)	09:00~12:30	80円
合計(税込)			2,480円

(*) 消費税率8%の対象項目	消費税率10%対象項目計(税抜)	2,255円	消費税額	225円
	消費税率8%対象項目計(税抜)	0円	消費税額	0円

- ・ 強くやしの会(1人)
- ・ 町民の会(1人)
- ・ 新誠会(2人)
- ・ 矢巾未来の会(2人)
- ・ 公明党(1人)
- ・ 日本共産党矢巾町議団(2人)



「調査研修報告レポート」

・ 報告者 会派名 矢巾未来の会
氏名 齊藤 勝浩

・ 実施期間 令和6年3月25(月)

・ 調査研修内容

<超高齢化人口減少社会におけるコミュニティ活動について>

・ 参加者 矢巾未来の会 谷上 知子、齊藤 勝浩
(9名) 強く優しい矢巾 横澤 俊一
町民の会 廣田 清実
公明党 小笠原 佳子
新誠会 山本 好章、ササキ マサヒロ
日本共産党矢巾町議団 小川 文子、木村 豊

研修題目	内 容
①これからの地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ はじめのいっぽ! 現状の課題の把握、環境、人口減少、持続可能社会の確立 ①地域の基礎データ (概要、資源、宝) ②人口データ (現状、未来推計など) ③健康データ (健診受診率など) ④施設データ (管内の高教室等一覧、位置など) <li style="text-align: center;">↓ ・ これらの見識について、各自治会長への意見徴収を行った。 1) 将来の地域像について意見交換→目指す姿を検討。 2) 人口施設などのデータなど盛り込み、地域カルテを作り現状を見える化する。 3) 行事、事務作業の棚卸が必要。
②人口推計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢巾町の現状、未来推計の確認 ①人口変動推計は、2020年の28千人をピークに横這い減少し2050年には22千人の人口推計となっている。 ②近年矢巾町で起きていたこと、15歳～24歳までの人口が350人ももの減少があり、0～14歳人口も減少、また生産年齢人口の15歳～64歳も減少の一途をたどっている。 ③人口の増加は、65歳以上のみであり、そのことによる独居世帯や高齢者世帯が増加している。 ④0～4歳幼児は、全国平均▲10.4%よりは低いものの▲3.8%と低下している。
③健康の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診受診率 ・ 受信後の対応 ・ 健康づくり <p style="margin-left: 150px;">} 一貫した取り組み強化が必要な時代である。</p>

<p>④重要課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少よりも大きな課題が増える時代、社会は「これまで通り」では歯が立たない。 ・地方は課題先進地であるが、課題解決先進地になる要素は十分にある。 ・「気付かないふり」が全てをダメにする。 ・チャレンジすることが必要一頭も、心も、柔らかくすることが重要である。 ・失敗を恐れてはいけない。
<p>⑤対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会は、行事を半減し、事業を福祉、防災、経済活動を行う必要がある。 ・地域の変化を見越した事業と組織への進化をすることが必要。 「予防、緩和」「地域のための機能、役割」「合同災害対応訓練」等への変容。 ・人口減少、85歳以上増に備えるには、時間の使い方を変えることである。 (行事の棚卸、会議の棚卸、組織の棚卸が必要) ・未来予想図の考察、コンパクトシティへの変容、多様な住民の参加を促す行動。
<p>※所感・感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受講し、いよいよ超高齢化社会に突入するのだと感じた。 ・今までの感性では駄目である。町を挙げてビジョンを創作し一歩づつ未来予想図を構築し、持続可能な社会の確立を進めることが必要である。 ・今までのやり方を全て白紙にするくらいの見識が必要である。 ・主導は町が先導することが大事であるが、町民一人々へ認識させ町一体で取り組む時期に来ているのは確かである。